



# VOICE

読者のページ

2025年7月号(53巻7号)へ寄せられた  
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

## 特集

### 教えて！誘発電位検査

- 誘発電位検査にはさまざまなノイズが伴いやすく、検査を行ううえでノイズの処理が重要であることがわかりました。図がたくさんあって、わかりやすかったです。  
A (新潟県)
- 誘発電位検査はABR以外実施した経験がありません。検査をどのように行うのかがわかって勉強になり、良かったです。  
YO (岐阜県)
- 各検査における基本的な内容が網羅されていて、大変わかりやすかったです。  
HH (兵庫県)
- 特に「3. アーチファクトと対策」が具体的に良かったです。  
TM (福井県)

## MT Seminar

### 臨床検査技師として 知っておきたい手術前貧血

- 普段は指示通りに検査をするだけだったので、これからは検査時に手術前貧血を意識してデータを見ていきたいです。  
金縛りマンハッタン (埼玉県)
- 手術前貧血は、患者の術後にさまざまな悪影響を及ぼすリスクになりうることをはじめて知りました。検査データを見る際は気をつけようと思います。  
KN (大阪府)
- 埼玉医科大学国際センターでは、輸血部や検査部が貧血患者の抽出や追加検査のオーダーを行っているとのこと、臨床検査技師が手助けできることがあるとわかって良かったです。  
やもり (山口県)

## MT Seminar

### D ダイマー高値の原因は何が考えられるか

- D ダイマー高値症例のDVT精査で下肢エコーをオーダーされ、DVT(一)で戸惑った経験があります。偽高値要因を学べて良かったです。  
ばいせん (埼玉県)
- D ダイマーのみ高値の患者で、臨床症状との乖離がなかったためそのまま報告したことがあります。今後は検体不良の可能性も鑑みて、凝血していないかを確認するようにしようと思います。  
さんきち (山口県)
- D ダイマー高値の原因が病態ごとに整理され、理解しやすかったです。鑑別の幅広さを再認識でき、臨床での判断力向上に役立つ内容でした。数値の変動と臨床経過の関係も意識して見ていきます。  
KM (東京都)

## MT Seminar

### 有意義な臨地実習に向けて 前編：養成校側の立場から

- 臨地実習指導者講習会を受講し、臨地実習に向けての心構えを気にかけています。カリキュラムが拡充された分、我々実習施設側と養成校側の協力も必要になっていくと感じました。  
SI (長崎県)
- カリキュラムが変わったことは耳にしていたのですが、詳しい内容を知らなかったのが、勉強になりました。自身の臨地実習を思い出し、初心を振り返ることができました。  
ろん (大阪府)
- 学生を受け入れている施設に勤務しています。臨地実習報告会でのエピソードを知ることができて良かったです。  
YT (東京都)

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはWebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

